JVC

RD-R2-B
RD-R2-S

レッスンマスター
強化機能ガイド

強化機能を使用するには、本機のソフトウェアをアップグレードする必要があります。
アップグレードのしかたについては、当社ホームページをご覧ください。

LVT2320-001A
1011SKYMDWPDF

レッスンマスターを強化すると
次の機能が追加されます

メトロノームの強化機能

再生の強化機能

チューニングの強化機能

メトロノームの強化機能

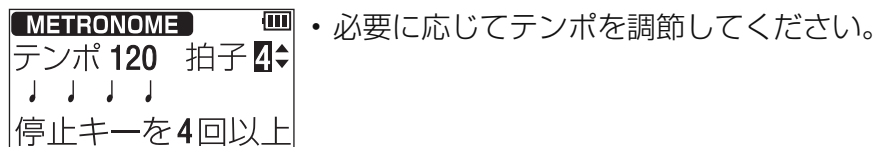
特殊な拍子に設定する

0～7拍子に加えて、8分音符や3連符などに設定できます。

1 **メニュー**ボタンを押してメニューを表示する

2 ▲/▼ボタンを押して「メトロノーム」を選び、**決定**ボタンを押す

3 **戻る**I◀◀/▶▶Iボタンを押して、拍子にカーソルを合わせる

・必要に応じてテンポを調節してください。

4 ▲/▼ボタンを押して拍子を選ぶ

新しく追加された拍子

表示	内容
0～7	0～7拍子(4分音符)
♫	1拍2連(8分音符)
♫	1拍3連
♫	1拍3連中抜き(シャッフル)
♬	1拍4連(16分音符)
♬	1拍4連中抜き

5 **決定**ボタンを押してメトロノームを鳴らす

1拍ごとにパターンを設定する

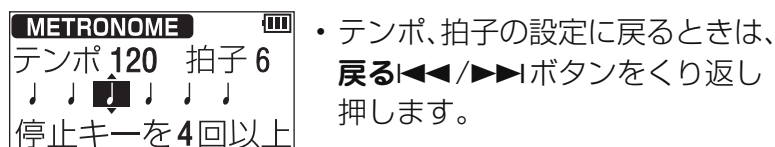
1拍ごとにパターンを設定できます。シンコペーションや2拍3連の練習にも便利です。

1 メトロノームの画面で**戻る**I◀◀/▶▶Iボタンを押し、拍子にカーソルを合わせる

2 ▲/▼ボタンを押して0～7拍子を選ぶ

拍子の数だけ♩マークが表示されます。

3 **戻る**I◀◀/▶▶Iボタンを押して、パターンを変えたい拍(♩マーク)にカーソルを合わせる

・テンポ、拍子の設定に戻るときは、**戻る**I◀◀/▶▶Iボタンをくり返し押します。

4 ▲/▼ボタンを押してパターンを選ぶ

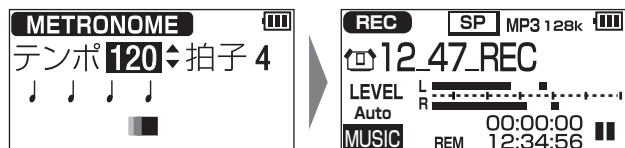
* これらのパターンは、手順3で最後の拍を選んだときは表示されません。

5 **決定**ボタンを押してメトロノームを鳴らす

メトロノームの強化機能(つづき)

メトロノーム音を入れて録音する

演奏と一緒にメトロノームの音を録音できます。あとで演奏のリズムをチェックでき便利です。

1 メトロノームを鳴らし、**録音●II** ボタンを押す

録音待機状態になり、録音ランプが点滅します。

- 必要に応じて録音感度を調節してください。
- 録音時にメトロノーム音を出さず、ランプのみ表示したいときは、**音量－**ボタンを押して音量を最小にしてください。(この場合も、メトロノーム音は録音されます。)

2 もう一度**録音●II** ボタンを押す

録音ランプが点灯に変わり、録音が始まります。メトロノームのリズムに合わせて演奏を始めてください。

- 録音中は入力音(モニター音)を聞くことはできません。

3 **停止■** ボタンを押して録音を終了する

メトロノーム音が停止します。(ランプは点滅をつづけます。)

4 **再生► II** ボタンを押して、録音した内容を聞く

お知らせ

- メトロノーム音は、音量や録音感度にかかわらず一定の音量で録音されます。
- メトロノーム音を入れた録音では、録音リバーブは無効になります。
- もう一度メトロノーム音を入れて録音したいときは、手順1から操作してください。

再生の強化機能

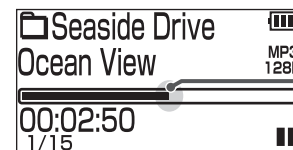
一瞬の音をくり返して聞く(フレーズ解析)

ボタンを押した瞬間の音をくり返して再生できます。曲の中のある一瞬の音を聞き取りたいときに便利です。

- あらかじめ設定が必要です。**メニュー**ボタンを押してメニューを表示し、▲/▼ボタンと**決定**ボタンで「機能/設定」→「再生設定」→「再生長押し」→「フレーズ解析」の順に選んでください。

1 曲を再生する

- 曲の選びかた、再生のしかたについては、取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめ再生スピードを遅くしておくと、ボタンを押すタイミングがつかみやすくなります。(→取扱説明書65ページ)

2 くり返し聞きたいところで**再生► II** ボタンを押しつづける

- 次の各ボタンで、くり返す音を調節できます。
  - **戻る**I◄◄/►►Iボタン: くり返す位置
  - ▲/▼ボタン: くり返す区間の長さ(5段階、▲:長く/▼:短く)
- **再生► II** ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 一瞬の音をくり返すため、故障したような音に感じられる場合がありますが、故障ではありません。
- **戻る**I◄◄/►►Iボタンでくり返す位置を移動する場合、内部の信号処理のため1秒移動するごとに音が途切れます。
- 一時停止中に**再生► II** ボタンを押しつづけると、一時停止した瞬間の音をくり返して再生します。

再生の強化機能(つづき)

ギターやボーカルの音を低減する(パートキャンセル)

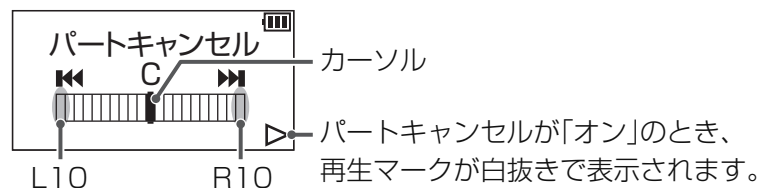
選んだポジションの音を低減して再生できます。たとえば、ボーカルの音を小さくして、カラオケの伴奏曲として使うことができます。

1 曲を再生する

2 **メニュー**ボタンを押してメニューを表示する

3 ▲/▼ボタンと**決定**ボタンで、「機能/設定」→「再生設定」→「パートキャンセル」の順に選ぶ

4 ▲/▼ボタンを押して「オン」を選び、**決定**ボタンを押す

ポジション選択画面が表示されます。

5 **戻る**I◀◀/▶▶I ボタンを押して、低減したいポジションにカーソルを合わせる

選んだポジションの音が低減されます。

- 「C」(センター)に合わせると、メインパートの音を低減します。
- 「L」(左)と「R」(右)は、それぞれ10段階に調節できます。
- 再生画面に戻るには、**再生▶II**ボタンを押します。

解除するには

手順4で「オフ」を選びます。また、曲が変わったときも解除されます。

お知らせ

- 曲によっては、音が低減しにくいことがあります。

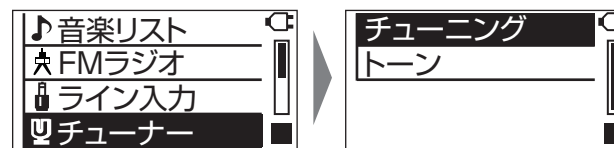
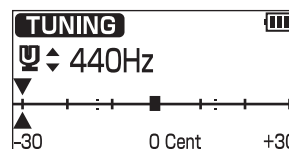
チューニングの強化機能

チューニング中にメトロノームを鳴らす

ロングトーンの練習や、音程を保ったままリズムトレーニングをしたいときに便利です。

1 メトロノームの設定をする(→本書3、4ページ)

2 **メニュー**ボタンを押してメニューを表示する

3 ▲/▼ボタンを押して「チューナー」を選び、**決定**ボタンを押す

4 「チューニング」が選ばれているのを確認して、**決定**ボタンを押す

- 必要に応じて、▲/▼ボタンを押して基準音の高さを調節してください。

5 **再生▶II**ボタンを押す

手順1で設定したメトロノームの音が鳴ります。

- メトロノームは、**停止■**ボタンで停止、**音量+/−**ボタンで音量調節ができます。

お知らせ

- チューニング中のメトロノーム音は「ビープ(電子音)」に固定されます。
- メトロノームの音量が大きいと、チューナーがメトロノームの音に反応してしまうことがあります。その場合は、ヘッドホンをご使用ください。